

● 現在の経営状況<sup>\*2</sup>

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	7.6 p	△ 16.6 p ↓
不動産流通業（住宅地）	△ 12.9 p	△ 18.1 p ↓
ビル賃貸業	34.8 p	7.5 p ↑

● 3ヶ月後経営状況見通し<sup>\*3</sup>

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	4.5 p	6.0 p ↑
不動産流通業（住宅地）	△ 11.2 p	△ 5.2 p ↓
ビル賃貸業	△ 2.2 p	0.1 p ↑

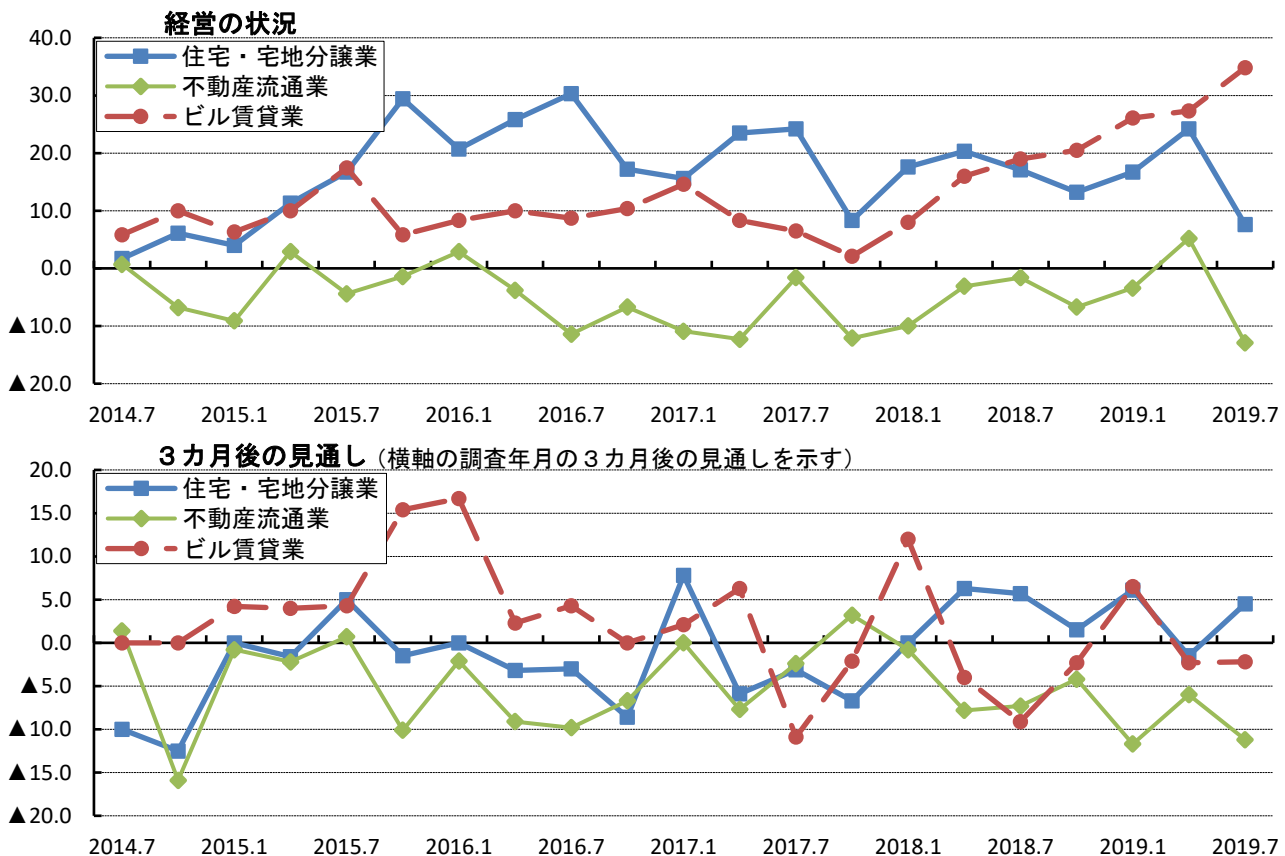
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 16.6p 悪化し 7.6p。26期連続のプラス水準。  
 不動産流通業は前回から 18.1p 悪化し -12.9p。2期ぶりのマイナス水準。  
 ビル賃貸業は前回から 7.5p 改善し 34.8p。21期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業およびビル賃貸業で改善、不動産流通業で悪化。

\*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

\*2 経営の状況 =  $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

\*3 3ヶ月後の見通し =  $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$   
 （調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」